

# プロジェクト報告書

団体名 社会福祉法人 子供の家 あすなろ荘

## ▼報告書の扱い、および記入にあたっての注意点

この報告書(精算報告書以外)は、ホームページなどで公開する予定ですので、広く読まれることを想定してご記入ください。また、編集段階で、表記・表現等を事務局で編集する場合がありますので、あらかじめご了承ください。語尾の表現は「です・ます」調をお願いします。報告書に掲載するため活動の内容がよくわかる写真(2枚程度。写真の肖像権問題がないものの提出をお願い致します)を添付して下さい。

## 1. プロジェクト名

防災設備設置事業

## 2. プロジェクトの目的とその背景 300文字まで

近年グループホームでの火災事故や施設での殺傷事件などを背景に行政や消防の方から防災に関する徹底がされ、自立援助ホームでも防災計画策定が義務付けられるなど行われるようになりました。2017年を持って築29年を迎えるあすなろ荘の建物は設立当初からある避難梯子の老朽化、錆により、本来の役割を果たせてないのは現状です。そのため、新たに避難梯子を購入、設置することで二階からの避難経路の確保を目指したいと思います。同時にむき出しで放置していた灯油のロッカー購入し、防災意識をより高めることを目的とします。

## 3. プロジェクトの内容 300文字まで

二階フロアの避難経路の確保のため、ベランダに固定の避難梯子が設置されていました。しかし、防犯上危険であることと梯子の老朽化のことを指摘されたため、固定梯子の撤去と同時に新たな避難具の必要に迫られていたため、非常時にのみ設置ができる避難梯子の設置を行います。また共有スペースで使用している石油ストーブの灯油缶がむき出しに保管されていたこともあり、防犯・防災の観点から鍵付のロッカーを購入し保管するよう、消防からも指摘を受けたため灯油保管ロッカーを購入します。

## 4. プロジェクト実施にあたっての工夫点とその効果 300文字まで

申請した当時はスチール製の避難梯子を計画していたが、2階が女性居室であることを配慮し、女性でも軽く持ち上げ、設置できるようにアルミ製へ変更となったこと、灯油缶の収納ボックスは別の場所に設置を考えていたが、既存の設置場所にし、スペースに合ったボックス購入となりました。

避難梯子の設置と危険物の取扱いの学習により、その使用目的と使用方法等を一緒に学ぶことができ、寮生・スタッフともに防災に関する意識が高まることのできたと思います。それから寮生に関しては将来的に一人暮らし、家庭を持った時の基礎知識と意識づけに役立って貰えたと思います。

## 5. 全体的所感、終了しての感想など 300文字まで

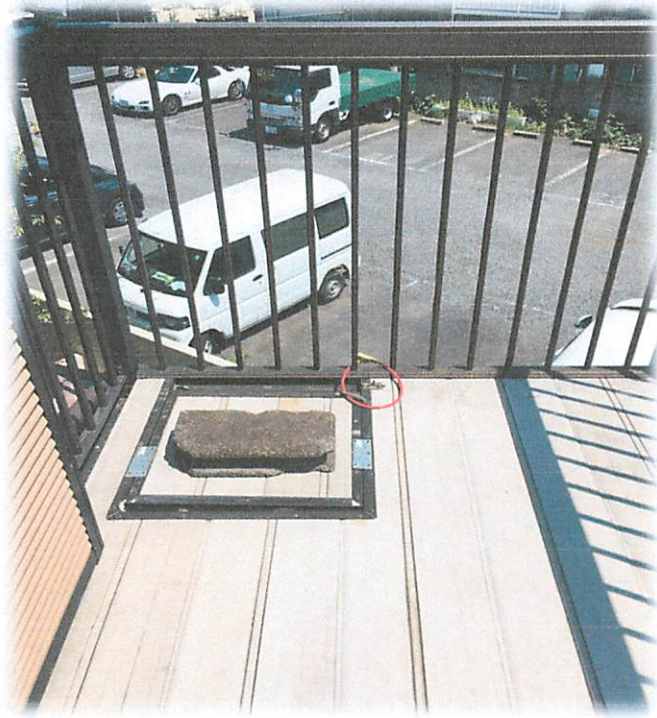
今まで固定で設置されている避難梯子は老朽化と防犯上の観点から使えないようにしていたこともあり、避難訓練等でも梯子を利用した訓練はしてきませんでした。今回収納式の避難梯子を設置することで様々な想定での避難訓練が可能となり、今後、一人暮らしを始める寮生に万が一のことが起きた時に、その危険性から回避できるように意識づけできたことはとても大きいと思います。むき出しになっていた灯油に関する危険物の扱い方について勉強できたよい機会になったと思います。

## 6. 参考資料

支援対象プロジェクトで作成したチラシ、パンフレットやマスコミで紹介された記事等は現物またはコピー、活動風景の写真を参考資料として提供してください。

参考資料あり ・ 特になし

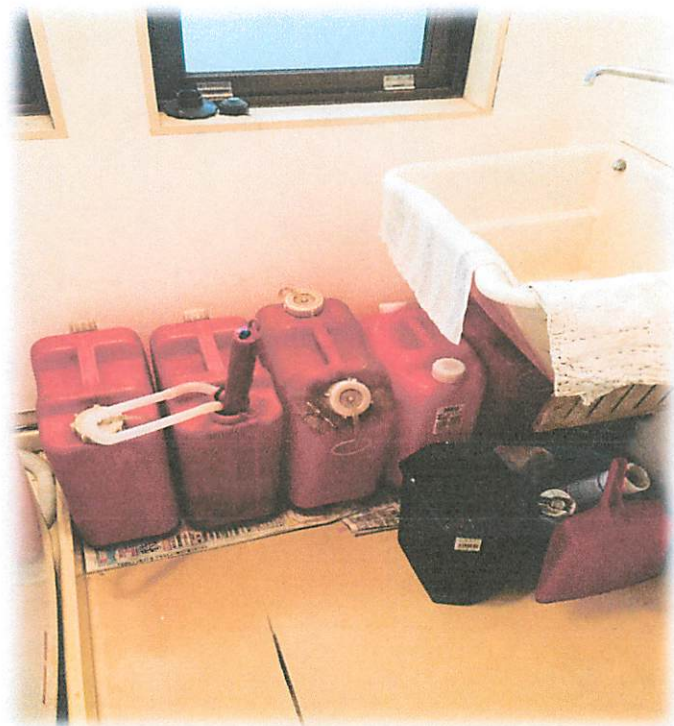
設置前



設置後



設置前



設置後

